



小泉小学校通信 No. 6

令和6年8月26日
郡山市立小泉小学校
校長 左雨 貴子

『2学期スタートにあたって』～2学期のキーワード『つながり』～

37日間の夏季休業が終了しました。この間、大きな事故や事件、トラブル等も報告がなく、無事に終了できたことをうれしく思います。これもひとえに保護者の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。昨日まで静かだった小泉小学校でしたが、小泉っ子が元気に登校しました。ちょっぴり大人になった顔に成長を感じました。子どもたちの笑顔を見て、元気をもらい、「よーしがんばるぞ。」という気持ちになりました。



今年の夏は、「パリオリンピック」がありました。限界に挑戦する世界のアスリートを見て、「可能性は無敵大」であると改めて感じました。自分で限界だと決めつけずに、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。私が注目したのは、試合後の選手のインタビューです。ほとんどの選手が、これまで関わってくれた周りの方への「感謝」の気持ちを述べていたことにとっても感動しました。試合直後に、周りの方に感謝の気持ちを言葉にすることは、なかなかできないことだと思います。「周りの方に支えられ、今の自分がここにいる」と感謝の気持ちをもって生活することを子どもたちにも伝えたいと感じました。

始業式に子どもたちにこんなことをお話ししました。

本日から、82日間の2学期がスタートとなります。学校行事や体験学習も多い学期です。2学期の主な学校行事は、全校遠足、校外学習、交通安全教室、小泉フェスタです。学校行事は、何のために行うのかというと、学校行事を通して、子どもたちがよい人間関係を作り、自分が集団の一員であることを自覚し、社会のルールを学ぶことで、よりよい学校生活を送るように自ら努力することを目的としています。



そこで、2学期は、『つながり』を大切にしたい学期にしたいと思っています。授業では、主体的な学びを実践するため、教師は様々な工夫を授業を施し、子どもたちの学習意欲の向上に努めています。主体的・対話的で深い学びの実現を目指して授業を進めています。対話的な学びとは、教師や他の児童、または地域の人々などとの対話を通じて、自分自身の考えを深め、自分なりのアイデアをもつことを目指す学びのことです。授業においては、同学年の子どもと、行事や清掃などの活動においては、縦割り班での異年齢集団でも対話を通して、心を通わせ、つながりをもつことでも成長してほしいと思います。

思いやり算を様々な行事や毎日の学習や様々な場面で、子どもたちが人とのつながりの中で発揮し、人と協力・協働（協働）して、充実した学校生活を過ごせるように支援していきたいと思っています。

「+（たす）」は**たすけ合う**ことです。一人よりも二人、二人よりも三人と力を合わせ協力することによって大きな力が発揮されます。

「-（ひく）」は困っている人のちょっとした仕事を**ひき受ける**ことです。

「×（かける）」は**声をかける**ことです。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」などあいさつを含め、「それいいね」「ごめんね」と各クラスの中で、人を励ます言葉や感謝の言葉がたくさん飛びかうことで、小泉小一人一人の心をつなげてほしいと思います。



「÷（わる）」は**いたわる**ことです。相手を思いやるいたわりの心を持って接すれば、相手の心が和み、笑顔が返ってきます。

今学期も、学校教育活動への保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

文責 校長 左雨 貴子

PTA 奉仕作業ご協力ありがとうございました

8月24日(土)に、第2回PTA奉仕作業を行いました。お暑期中、早朝より多くのご参加をいただきありがとうございました。

今年の夏は、連日の猛暑と局所的な大雨で、校庭の雑草が例年より多く、PTAの皆様の協力のもと除草作業をしていただき、ありがとうございます。子どもたちが、整備された校庭で、運動や遊びをのびのびとできます。環境を整えていただきましたことに、感謝申し上げます。

<作業前> → <作業後>



<作業の様子>



夏休み中のできごと

8月1日(木)に、「寺子屋明健 in 小泉」を実施しました。3名の講師(日本大学工学部学生)が来校し、14名の児童が参加をし、学習を行いました。作文の記入の仕方や夏休みの課題で分からない問題を教えてもらうなど、有意義な学習時間となりました。

終わった後に、講師の方々に感想をお聞きしました。「お話がたくさんできてよかったです。素直なお子さんが多くて、教えがいがありました。」

「初めて小学生に勉強を教えたが、反応がよくて、会話をして楽しかったです。分かるように教えることが難しく、自分も勉強になりました。」「教職をとっています。昨年度は、中学生を対象とした寺子屋に参加しましたが、ほとんど会話がありませんでした。小泉小の子ども達は、表現力が豊かで、教えがいがありました。とても素直ないい子達でした。」と話していました。



プールサイドの掲揚塔の解体工事で校庭の側溝清掃を行いました。



「風土記の丘の美術展」小泉小の作品が展示されました

8月3日(土)～8月9日(金)に、郡山市立美術館に小泉小児童の作品が展示されました。

「わにのかぞく」1年 水野 龍騎



「にじのたまご」2年 佐藤 優



「アイランドのオーロラ」
3年 遠藤 歩葵



「ジャングルのすみか」
4年 内田 浩太



「私の一日」
5年 松山 珠花



「ドリームボックス」
6年 柳沼 夏嘉

